

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年9月19日
<p>出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 西村匡史（座間事件の白石被告を取材）</p>		
<p>検証テーマ： オープニング、安倍前首相の靖国参拝、菅政権の土曜日、ジャパンライフ アメリカと中国と台湾、アメリカのリベラル派重鎮ギンズバーグ最高裁判事が死去 【特集】 菅新総理誕生で…</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4連休初日 ・ オープニング ・ 安倍前首相の靖国参拝 ・ 菅政権の土曜日 ・ ジャパンライフ ・ アメリカと中国と台湾 ・ タイで反政府運動 ・ アメリカのリベラル派重鎮ギンズバーグ最高裁判事が死去 ・ 宇都宮での女子高生切りつけ事件の容疑者の男性を逮捕 ・ はとバスが運休の車両を使って巨大迷路アトラクション ・ 【特集】 菅新総理誕生で… ・ 【特集】 座間 9人殺害の真相 ・ スポーツ報道 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープニング：結論→特に問題なし 番組の冒頭で金平キャスターが「オーナー商法のジャパンライフ元会長が詐欺容疑で逮捕されました。桜を見る会への招待状が宣伝に使われていました。加藤官房長官は資料は保存されていないとして、再調査しない以降を記者会見で述べました、やはり何も変わっていないんだと実感します。菅新内閣、特集でお伝えします。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は23秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・ 安倍前首相の靖国参拝：結論→特に問題なし 膳場キャスターの「ではニュースです。今週総理大臣を辞任したばかりの安倍前総理が今朝、靖国神社を参拝しました。」とのコメントおよび日下部キャスターの「安倍氏の靖国参拝は総理在任中の2013年12月以来のことです。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 ナレ「安倍前総理は自身のツイッターで本日靖国神社には参拝し、今月16日に内閣総理大臣を退任したことを御英霊にご報告致しました、と発表しました。安倍氏がやs國神社を参拝するのは2013年12月以降のことでそれ以降は中国や韓国などアジア諸国への政治的な配慮から参拝を控えていました。今年は終戦75年ということから自民党の保守系議員などを中心に安倍氏の総理在職中に参拝を求める声が高まっていました。中国と韓国のメディアは参拝を速報しました。中国共産党系の国際紙環球時報は直接の論評は避けたものの、中国外務省が去年10月、日本の閣僚の靖国参拝について誤った態度だと批難し、侵略の歴史を反省するように日本側に促した 		

ことに言及、暗に不快感を表した格好です。また韓国の聯合ニュースは現職総理という負担がなくなるとすぐに参拝し、極右指向を再び示した。保守・極右勢力に向けた政治的メッセージとも見られると伝えました。」

このトピックについて当てられた時間は 93 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・菅政権の土曜日：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「菅内閣が発足して初めての週末、菅総理が国連演説に向けたビデオ収録を行った他、デジタル庁設置に向けた会合も開かれました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「菅総理は午前 9 時過ぎから総理官邸の庭を散歩し、その後、国連総会で上映するビデオ演説の収録に臨みました。」

"平井卓也（デジタル担当相）「休日にも関わらず、大勢いただきまして、参加していただきましてありがとうございます。」

男性ナレ「一方、菅総理が力を入れるデジタル庁の創設に向けて平井デジタル改革担当大臣は連休明けの 23 日に行われるデジタル改革関係閣僚会議を前に内閣官房の職員を前に意見を交わしました。デジタル庁の創設を巡って政府は当初、2022 年 4 月の発足を目指すとしていましたが、前倒しができないか検討しています。」

"女性ナレ「一方、河野沖縄北方担当大臣は就任後、初めて沖縄を訪れ玉城知事と会談をしました。」

玉城デニー（沖縄県知事）「米軍基地の整理縮小は沖縄の過重な基地負担の解決だけではなく社会経済、雇用の面でも大きな成果を上げることは既にもう実証済みであります。」

河野太郎（沖北相）「今度は経済を中心に内政面でいかにサポートをしていけるかということが私の仕事になりますので、しっかり沖縄県を支えていけるように努力をしてみたいと思っています。」

ナレ「玉城知事は来年度の沖縄振興予算 3000 億円台の確保や普天間基地の辺野古移設の断念などを求めました。河野大臣から辺野古移設についての言及はありませんでした。」

このトピックについて当てられた時間は 109 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ジャパンライフ：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「オーナー商法を展開したジャパンライフによる巨額詐欺事件で元会長らが資産家をランク付して勧誘していたことがわかりました。個人の被害の最高額はおよそ 10 億円だということです。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「ジャパンライフの元会長、山口隆祥容疑者など元幹部ら 14 人は債務超過に陥り配当の見込みがないにもかかわらず、男女 12 人から出資金として 8000 万円余をだまし取った疑いで昨日逮捕されました。その後の警視庁への取材で山口容疑者が勧誘などの際、ファイナンシャルプランナーが相談に乗るなどと言って、資産状況を記入させてランク付けをし、資産のある高齢者を狙って勧誘していたことがわかりました。最高でおよそ 10 億円の被害にあった高齢者もいるということです。」

"松下正巳（ジャパンライフ元取締役、容疑者）「だけど正直言ってよくみんなそんな金、投資するっていうか出すと思うよね、俺、常識じゃ考えられない。」

ナレ「被害総額は詐欺事件として過去最大級のおよそ 2100 億円に登るということで警視庁は巨額詐欺事件の実態解明を進めています。」

このトピックについて当てられた時間は 74 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカと中国と台湾：結論→特に問題なし

日下部正樹「台湾民主化の父と呼ばれた李登輝元総統の告別式が行われました。米中対立が深まる中、アメリカの高官も参加し、台湾とアメリカの関係強化を強調した形です。」

"ナレ「李登輝氏の告別式は台湾北部の礼拝堂で行われました。」

蔡英文（台湾総統）「台湾の民主主義と自由を深め、促進する責任がある。」

ナレ「アメリカはクラック国務次官を派遣。最英文総統は昨夜、時間を夕食会に招き、関係強化を強調しました。こうした動きに反発する中国は昨日から台湾海峡付近で軍事演習を開始、台湾当局は先程、中国の軍用機 19 機が防空識別圏に侵入し、一部が昨日に続き、台湾海峡の中間線を越えたとして中国を避難しています。一方アメリカ政府は中国企業が運営するアプリ、TikTok やウィーチャットの新たなダウンロードなどを 20 日から禁止すると発表しました。」

トランプ（アメリカ大統領）「中国に対して総合的に安全を確保せねばならない。」

ナレ「TikTok のアメリカ事業の売却交渉を優位に進めるための中国への圧力と見られますが、中国側は国家の力を使って企業の正常な活動を深刻に妨害したとして、対抗措置を取る可能性も示唆しました。」 "

このトピックについて当てられた時間は 97 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカのリベラル派重鎮ギンズバーグ最高裁判事が死去：結論→特に問題なし

膳場キャスターによって「アメリカで女性の権利拡大などに尽力してきたリベラル派の連邦最高裁判所判事がなくなりました。87 歳でなくなったのはルース・ギンズバーグ氏で最高裁では史上二人目の女性判事として 1993 年に就任、リベラル派の重鎮として知られていました。最高裁判事は終身制のため銃規制や妊娠中絶問題など社会を二分するテーマをどう判断するか、長期に渡り影響力を持ちます。ギンズバーグ氏の死去により保守は 5 人、リベラル派 3 人の構成となりましたが新しい判事は大統領が指名し上院が承認すれば決まるため、上院が多数を占める与党共和党は 11 月の大統領選挙の前に保守派の判事を決定する構えを見せています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた 55 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】菅新総理誕生で…：結論→他の放送日とのあわせての判断が必要

膳場キャスターの「特集です。今週発足した菅新内閣。菅総理は安倍政権の取り組みを継承し、前に進めると語りました。一体何を引き継ぎ、どんな政権となるのでしょうか？」とのコメントを受けて以下に朱記したような特集の VTR が取り上げられていた。

ナレ「今週、菅 新内閣が発足した。」

菅新首相「安倍政権が進めてきた取り組みをしっかりと継承して、そして前に進めていく」

"田中氏「よろしくおねがいます」

膳場「お久しぶりです。よろしくお願ひします。」 "

ナレ「田中角栄元総理の長女で、かつて自民党と民主党の両方で閣僚を務めた田中真紀子氏は、菅新体制をどう見たのか？」

膳場「菅内閣に変わって、何か変化が起きる可能性はないでしょうか？」

田中氏「全然ないでしょう。安倍さんの継承だって、ご本人もはっきりおっしゃってるんですから。」

田中氏「あの人はやっぱり生ごみのバケツのふただって言ったら、えって私もネットで言ったんですけど、(バケツの) 中は森友とかその他いっぱい。役所の問題、役人の首を切ったこと。安倍さんのお家から出る生ごみね、

その蓋ね。」

膳場「安倍政権の、いわゆる負の遺産の後処理のような感じでしょうか？」

田中氏「すごく危険だと思って安倍さん見てましたからね。それが続いているだけです。」

田中氏「政治っていうのは、やっぱり安倍さんが7年8ヶ月もなさったわけですから、その検証、を詳しくしっかりやるべきだと思います。」

ナレ「菅総理の政治手腕については、こう評した。」

田中氏「あの方、ふるさと納税やった方ですか？で、今回も地方の物産を、りんごでも魚でも売って、景気を動かす。そんなの農協のやることです。あの人農協のあれじゃないでしょう。」

田中氏「まあ荷が重いでしょうね。私お気の毒だと。お気の毒 内閣総理大臣。」

ナレ「一方、野党について真紀子氏は、」

田中氏「枝野さんとも、二人で話をするんですけど、とにかくやっと50人集まったんだから、とにかく絶対割れちゃいけませんよ。(今まで) 自民党を勝たせるためにいるみたい。でも今回ぶれないでくれと、今すぐ政権こないんだから。そうしたら国民はしっかり見てるから、正しくね。」

(CM)

ナレ「自民党の総裁選は、菅氏が全体の7割の票を集め圧勝した。」

金平「菅さん。今回の勝利の・・・」

ナレ「3位に沈んだ石破氏は・・・」

金平「お疲れ様でした。どうだったですか？一言で言えば。」

石破氏「うーん、世の中いろんなことがありますね。」

金平「ここまで勝ち馬に乗るのか？みたいなことを言っておられる方をよく耳にするんですけども。石破さんはそういう声についてどう思われますか？」

石破氏「それが世の中なのでしょう。」

ナレ「一方合流し、150人になった立憲民主党は、」

日下部「有権者ね、果たしてこれは新党なのかと厳しい見方もあると思うけれども、」

新『立憲民主党』安住淳国対委員長「数を集めることから始めて、そして足りない分を総選挙で勝っていくためには、この道を、あの、選ぶしかないんです。」

ナレ「菅新総理は、規制改革を看板に掲げ、不妊治療への保険適用の拡大や、携帯電話料金の引き下げの実現を目指すとした。そして、」

菅氏「秋田の農家の長男に生まれた私の中には、一貫して地方を大切にしたい。日本の全ての地方を元気にしたい。こうした気持ちが脈々と流れております。」

ナレ「菅氏の生まれ故郷、秋田県湯沢市。市内のホテルには後援会員が集まり、総理誕生の瞬間を見守った。」

映像「内閣総理大臣に指名するという次第になりました。」

拍手「パチパチパチパチ」

後援会員男性「秋田県の本当に、端っこのね、小さな町村から頑張っここまできましたから」

後援会員女性「素晴らしいですね。期待してます、期待してるし、元気でやってもらわないと。ちょっとね」

ナレ「菅総理と小中校で同級生だった、伊藤英二さん。71歳。」

伊藤さん「ここが生まれた家。」

記者「ここが菅さんの？」

ナレ「山と畑に囲まれた農村に立つ一軒家。ここが菅総理の生家だ。表には同級生たちがカンパで作った大きな

垂れ幕が飾られていた。」

ナレ「イチゴ農家の長男として生まれた菅総理は、高校を卒業するまでの 18 年間で、ここで過ごした。」

"伊藤さん「学校から戻れば、ほんとにそこの川で魚とり、あぁうまかったよ。」

記者「どんな感じですか？」

伊藤さん「手づかみでよ、石の下から。」"

ナレ「少年時代の菅総理は、正義感の強い子供だったと伊藤さんは話す。」

伊藤さん「いじめっ子が、弱い者をいじめてれば、義偉が間さ入って、そのいじめっ子と話して、で、止めさせると。で、学校から帰らずで、義偉と、そのいじめられた子どもと一緒に帰るわけよ。そしたら いじめにくくなるわけよ。」

ナレ「一方で別の一面も」

中学時代の同級生「女性から声かけられたりすると、ちょっとはにかんで、照れやさんでシャイで。」

伊藤さん「女性のそばさいけば、赤くなって汗流してる。ドキドキして、熱くなってくるみたいな体。」

ナレ「十八歳で自分の力を試したいと上京。板橋区の段ボール工場に就職した。その後働きながら法政大学に通い、26 歳で政治の道を志す。故小此木彦三郎元通産大臣の秘書を 11 年間務め、38 歳で横浜市議に。」

ナレ「そして 1996 年、衆議院議員に初当選し、47 歳で念願の国会議員になった。」

ナレ「地盤も看板もない菅氏だが、2012 年、64 歳で第二次安倍内閣の官房長官に就任。ついに総理大臣にまで上り詰めた。」

ナレ「『政治家の覚悟』と題した著書。この中で菅氏は、官僚を動かせと持論を述べている。」

著書「真の政治主導とは、官僚を使いこなしながら、国民の声を国会に反映させつつ、国益を最大限増大させることです。」

ナレ「横浜市議時代の 1 期先輩にあたる田野井一雄市議に、その真意を聞いた。」

日下部「この菅さんの、官僚に対する見方というか、役人観みたいなものっていうのはどういうものがあるんですか？」

田野井氏「横浜市議会議員時代からですね、役人の能力識見を見抜いてですね、彼が役人を説得しですね、影の横浜市長だと言われたのはですね、やっぱり役人を使いこなす、その役人を適材適所ですね、やはり、ポストに進言をしていったと。これは事実だとこんなふうに思いますね。」

ナレ「一方で意に沿わない役人は冷遇した。官房長官になって肝いりのふるさと納税をめぐり、異論を唱えた総務省の自治税務局長を事実上左遷、そして今回こんな発言を。」

日下部「政策に反対する官僚は異動だ。っていうような発言をしてますね」

田野井氏「あーあり得ると思いますね。それはね。自分の理解と納得ができなければ、彼はそういう決断をするかも分かりません。そういう男だと思います。」

ナレ「安倍政権が残したいいわゆるモリ・カケ・サクラの問題。菅総理は就任したその日に」

菅首相「来年以降、今後桜を見る会、こうしたことは中止をしたい。」

ナレ「税金で開催されてきた桜を見る会、公的行事の私物化ではないかと追及されてきた。安倍前総理の地元後援会から多くの人々が参加していたことや、行政処分を受けた人物を招待していた疑惑も。招待者名簿を要求した野党に対し、安倍政権は破棄したとして存在を否定、バックアップデータが残っていたことを指摘されると、」

菅氏「バックアップファイルは、一般職員が業務に使用できるものではないことから、組織共用性を欠いており行政文書に該当しない。」

記者「何のためにバックアップを取っていることになるんでしょうか？データというのはいつでも復旧できるた

めに・・・」

菅氏「それはものによって違うんじゃないでしょうか。」

ナレ「桜を見る会を巡っては、前夜祭の支出が公職選挙法違反などにあたるとして、900人を超える弁護士や法学者らが、東京地検に告発した。」

ナレ「追及する法律家の会の呼びかけ人の1人、泉澤章弁護士は、

『桜を見る会』を追求する法律家の会 泉澤章弁護士「ナンバー2である菅さんが、まったくこうスルーしてですね、あの一、ということはちょっと考えられないと思うんですよ。政治的責任というのは本当に重いわけであって、これはもう安倍さんが、もう、政権を降りたから、もう”ない問題”だというのは到底できないと考えています。」

ナレ「総裁選中には、3候補に、公開質問状を送ったが、回答はなかったという。」

泉澤弁護士「積極的に何か説明して、国民のギモンをですね、払拭しようだなんて考えは、毛頭ない発言をなさっているんですよ。ということはやはり今まで政権の中核にいて、今度本当にもう首相になってと、表にも出る。そういう人がですね全く姿勢を変えないということは、国政の私物化という姿勢が、新しい政権になってもそのまま続いていくと。そういう風に見ざるを得ないと思うんですよ。私はそれについてはやはり許せないというふうに考えています。」

ナレ「そして、昨日、

記者「捜査員に連れられてジャパンライフの元会長山口容疑者が自宅から出てきました。」

ナレ「詐欺の疑いで逮捕されたのは、預託商法で200億円以上を集め経営破綻した、ジャパンライフ山口隆祥容疑者ら14人。ジャパンライフは桜を見る会の招待状を宣伝に利用していた。その経緯について再調査をするかを問われた新しい官房長官は、

加藤勝信新官房長官「名簿も保存されていないということで、個々の招待者について、今から改めて調べても確固たることは申し上げることができない。」

ナレ「再調査をしない考えをあらためて示した。」

ナレ「一方沖縄では、

女性「寄り添って考えて政治をやってほしいなど。だから菅さんは大丈夫だと思いますよ。あの人、農家の出らしいですから。」

女性「辺野古とか、やっぱり（自然を）残して欲しいと思っているから、取り組んでくれたらいいかなと思いますよ。」

ナレ「アメリカ軍普天間飛行場の移設先として埋め立て工事が進む名護市辺野古。その大きな転換点は7年前のクリスマスだった。」

安倍首相「総額3480億円を上回る規模のものを確保しました。」

ナレ「基地負担軽減策として、巨額の支援を得た見返りに、仲井真沖縄県知事が辺野古の埋め立てを承認する意向を固めたのだ。」

仲井真知事(当時)「有史以来の予算です。有史以来の税制、これはいい正月になるなあというのが私の実感です。」

ナレ「2014年9月、菅官房長官は、基地負担軽減大臣を兼務。国が沖縄などに払う独自の交付金なども取りしきるようになる。その2ヶ月後に知事になったのが、

翁長知事「県内には作らせない」

(CM)

翁長知事「県内には作らせない。」

ナレ「2014年新基地建設に反対を掲げる翁長知事が誕生すると、政府は対応を一変。沖縄への予算を160億円減額した。知事からの再三の面会の申し入れも断り続けた。」

菅官房長官「年内にはお会いするつもりはありません」

翁長知事「予算委員会があるということで、全閣僚、そういう意味では簡単ではないというようなことはお聞きしておりました。」

ナレ「政府は、県知事と対話することなく、辺野古が唯一の解決策だとして、工事を強行した。」

菅官房長官「我が国はこれ、法治国家ですから、その法制に基づいて手続きを行っていますから、それに関して粛々と進めていくのは、これは当然のことではないですかね。」

菅官房長官「粛々と対応していきたいというふうに感じます。」

ナレ「菅氏は何度も”粛々と”と言う言葉で突き放した。」

ナレ「知事就任から4ヶ月以上経ってから、二人の面会が実現したが」

翁長知事「上から目線の粛々という言葉を使えば使うほど、県民の心は離れて、そして怒りはですね増幅をしていくのではないかな。このように思っております。」

ナレ「翁長知事の著書には菅氏とのこんなエピソードが綴られている。」

"著書「中でも私が強く求めたのは、沖縄が歩んできた苦難の歴史に対する理解でした。しかしいくら歴史を語っても、菅官房長官からは、

『私は戦後生まれなものですから、歴史を持ち出されたら困りますよ』

『私自身は県内移設が決まった日米合意が原点です。』

という答えが返ってきました。" "

著書「私は官房長官に、『お互い、別々に戦後の時を生きてきたんですね。どうにも擦れ違いですね。』と告げました。」

ナレ「国と県との話し合いは決裂。翁長知事は病に倒れた。」

ナレ「県民葬で菅氏は、総理の追悼メッセージを代読した。」

菅氏「政府としても基地負担の軽減に向けて、一つ一つ確実に結果を出していく決意であります。」

群衆「嘘つき！帰れ！」

ナレ「この現場にいた翁長氏の盟友で、沖縄経済界の重鎮、呉屋守将氏は、」

金平「あの時起こったことを覚えていらっしゃいますでしょうか？」

呉屋氏「なんか怒声が飛んでましたね。政治家っていうのは、敏感にならなければいけないんですけども、鈍感にはならざるを得ないんですかね。あれだけ現場で県民葬の中で、県民の生の声が発せられているの関わらず、それに耳を傾けることなくですね、もう無視して、着々と粛々と、現在の事業を進めていくと。これは政治ではないというふうに思いますが。」

ナレ「地元紙琉球新報の松本編集局長に聞いた。」

金平「新菅政権の下ですね、政府の沖縄政策っていうのは、良くなりますか？それとも後退しますか？県にとって。」

琉球新報松元剛編集局長「安倍さんは沖縄から見ると、菅さんに任せてる部分が多くて、沖縄については菅官房長官に、全権委任してたというぐらい関心が薄かったように思います。まあ沖縄にとっては、もしかすると首相が変わったことによって、もっと厳しい局面が続く、到来することではないかなという見方・懸念を覚えていますね。」

ナレ「県民投票などで、新基地反対の民意は再三示された。しかし、その声に応じることなく、菅氏は、沖縄振

興は基地負担の見返りという姿勢を示し続けている。」

菅官房長官「基地問題への対応と返還された基地の跡地利用を含む沖縄振興策。総合的に推進するという意味において、両者はリンクしている。」

ナレ「安倍政権が沖縄に与えた飴と鞭。菅新政権はさらにそれを推し進めるのか。」

呉屋氏「沖縄県民は決して、今のままでは心服することはありません。屈服はしてもですね、心服することはない。心服させてほど政治だと思います。はい。」

(CM)

特集のVTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されていた。

膳場「菅総理は政策に反対する官僚は、異動させると発言しましたがけれども、ふるさと納税をめぐって菅氏に異論を唱えたために左遷された元官僚の平嶋彰英さんからコメントを頂きました。」

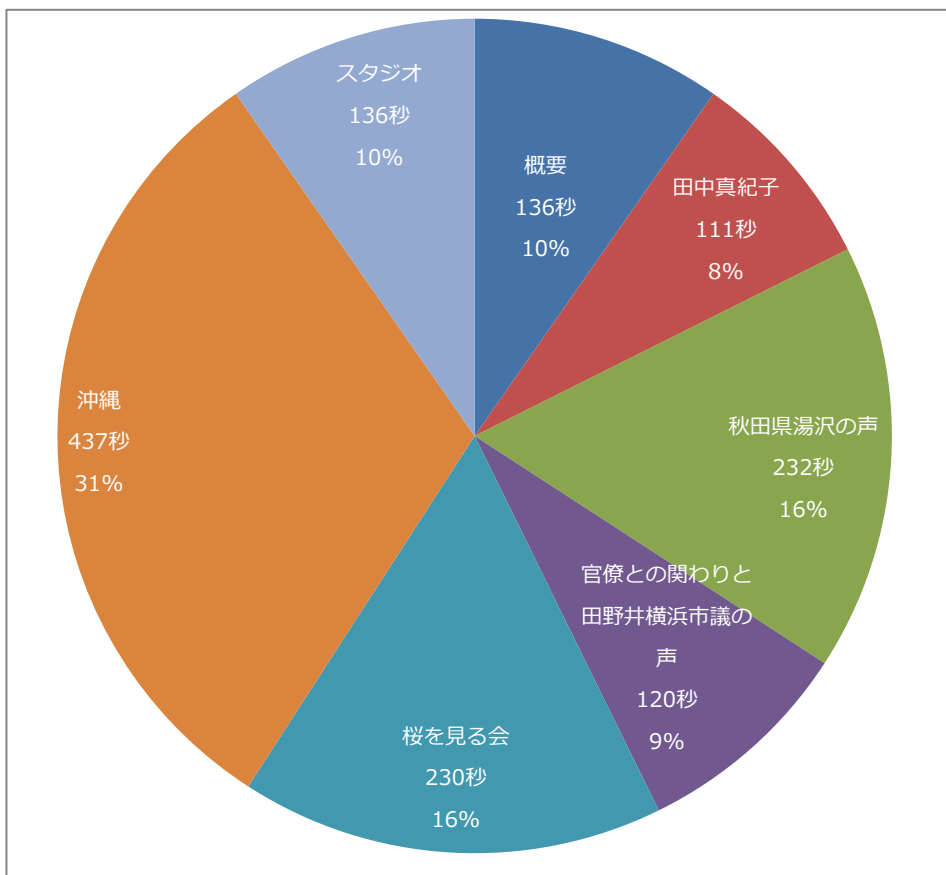
平嶋氏コメント「ふるさと納税の際には、まだ検討の過程で見過ごせない重大な問題があることがわかり、意見も申し上げた次第で、菅首相がそれを”政府の政策に反対する官僚”と言うのであれば、まともな検討さえもできません。」

膳場「とおっしゃっています。さらに今後、菅政権が強権体質となれば、霞ヶ関の士気が落ちるだけでなく、モラルが著しく低下することが懸念されますと警鐘を鳴らしていらっしゃいました。」

日下部「あの—もう一つ気になるのはね、菅総理が目指す社会の在り方としてですね、自助共助公助を掲げているんですけども、1番目が自助ですね、つまりまず自分で努力しろと。まあ叩き上げを売りにする総理らしいといえはそうなんですけれども、ただこの自助という言葉はね、為政者が強調し過ぎるとですね、うまくいかないのは、国民の努力が足りないからだって言うね、非常にですね時代錯誤的な状況に陥りかねないと思いますね。」

金平「あのね、子供の頃いじめを止めたとか何か言ってましたけどね、菅さんは。あれ、だけど、翁長知事が4ヶ月ずっと会えなかったっていうのは、いじめそのものだと思いますね。ちょっと見ていただきたいものがあるんですけども、これ若き日のですね、小渕恵三総理が早稲田の学生時代に、まだ返還前の沖縄に行ってですね、のちに知事になった稲嶺一郎さんにですね、送った礼状のコピーなんですね。これ。あの非常に達筆でですね沖縄への愛情があふれた文面なんですけども、そういう基本的な沖縄の歴史を知ろうって思いがですね、かつての、その山中貞則、橋本龍太郎、梶山静六、小渕恵三、野中広務っていう人たちがあったけれども、菅さんと安倍さんにはそういうものが決定的に欠如していると、今度の河野太郎沖縄担当大臣はどうなのかという想いを強くしますね。」

この特集に当てられた時間は1411秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



この特集ではそれぞれの論点について上記のように焦点が当てられていた。

桜を見る会や沖縄の問題に非常に重心が置かれた特集である一方で、スタジオでの日下部キャスターの「あの—もう一つ気になるのはね、菅総理が目指す社会の在り方としてですね、自助共助公助を掲げているんですけども、1番目が自助ですね、つまりまず自分で努力しろと。まあ叩き上げを売りにする総理らしいといえばそうなんですけれども」とのコメントにもあるように、菅総理の政策論として個人主義的あるいは自由主義的な傾向があるように伝えられているが、今回はそうした政策論についてはほとんど取り上げられることはなかった。

また、例えば自民党の総理総裁を平成に限って振り返ってみても、山口の安倍晋三、福岡の麻生太郎、群馬の福田康夫、神奈川の小泉純一郎、石川の森喜朗、群馬の小渕恵三、岡山の橋本龍太郎、広島宮澤喜一、愛知の海部俊樹、滋賀の宇野宗佑、そして島根の竹下登と、どちらかという田舎、地方を選挙区とする政治家が目立ち、首都圏を選挙区とする自民党の総理は平成では小泉純一郎のみである。そうしたこともあり従来の自民党政権、自民党の政策というのは地方偏重・都市部軽視の傾向が強かったが、これが変わる可能性もあるだろう。実際に大臣や副大臣では行政改革担当大臣の河野太郎を始めとして神奈川県政治家が多く起用されており、そうした可能性を十分に感じさせる布陣となっている。

このように菅政権の政策についても取り上げるに値するポイントがいくつもあるように見えるが、今回の特集では金平キャスターの趣味で論点をピックアップしていたような作りになっていた。

菅政権については今後も特集が組まれると考えられるが、その際にどういった論点を取り上げるかは注視が必要と考える。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・オープニング

番組の冒頭で金平キャスターが「オーナー商法のジャパンライフ元会長が詐欺容疑で逮捕されました。桜を見る会への招待状が宣伝に使われていました。加藤官房長官は資料は保存されていないとして、再調査しない以降を記者会見で述べました、やはり何も変わっていないんだと実感します。菅新内閣、特集でお伝えします。」とコメントしていた。ところで、このジャパンライフは桜を見る会への招待状のみならず、マスコミ関係者についても顧問などに迎え入れて広告塔として利用していたが、そちらの問題については切り込まないのだろうか。

お仲間のしたことだから、手心を加えている、ということはまさかありはしないだろうと信じたい。

・【特集】菅新総理誕生で…

スタジオでは日下部キャスターが「あの—もう一つ気になるのはね、菅総理が目指す社会の在り方としてですね、自助共助公助を掲げているんですけども、1番目が自助ですね、つまりまず自分で努力しろと。まあ叩き上げを売りにする総理らしいといえばそうなんですけれども、ただこの自助という言葉はね、為政者が強調し過ぎるとですね、うまくいかないのは、国民の努力が足りないからだって言うね、非常にですね時代錯誤的な状況に陥りかねないと思いますね。」とコメントしており、また金平キャスターは「これ若き日のですね、小渕恵三総理が早稲田の学生時代に、まだ返還前の沖縄に行ってですね、のちに知事になった稲嶺一郎さんにですね、送った礼状のコピーなんです。これ。あの非常に達筆でですね沖縄への愛情があふれた文面なんですけども、そういう基本的な沖縄の歴史を知ろうって思いがですね、かつての、その山中貞則、橋本龍太郎、梶山静六、小渕恵三、野中広務っていう人たちあったけれども、菅さんと安倍さんにはそういうものが決定的に欠如していると、今度の河野太郎沖縄担当大臣はどうなのかという想いを強くしますね。」とコメントしていた。

ところで、我が国は国民主権に基づく民主主義国家である。仮に主権者である国民が自助を重視しているのであれば、為政者が自助を強調するというのもっともな話であるし、主権者である国民が沖縄への特別な思いを持つことを歓迎しないのであれば、為政者としてもよほど強いきっかけでもなければ沖縄に対して特別な思いを持つということも無いのではなかろうか。金平キャスターの言う話は沖縄に近い鹿児島の中山貞則は別にしても、橋本龍太郎や梶山静六、小渕恵三、野中広務らの時代を支えていた有権者の側にも沖縄への思いがあったのでは、という視点を欠いているのではなかろうか。

日下部キャスターのコメントも金平キャスターのコメントも為政者の選好を取り上げるあまりに、その後ろにいる有権者の選好や本音を余りにも軽視しすぎてはいないだろうか。

沖縄にどういう思いを持つかであるとか、自助と公助のどちらをより重視するかは個人の自由であるが、政治家の場合は選挙の洗礼がある。自らの政治的選好・政策的選好について有権者から拒絶された場合、政治家は政治家ではいられない。

その点、金平キャスターや日下部キャスターは電波という既得権に守られているから、仮に大多数の国民から拒絶されたところで、キャスターあるいはジャーナリストもしくはテレビ業界人として自らの選好を持ち続けることができる。これは政治家とは明らかに異なる

政治家、特に当選回数を重ねた政治家の選好については、その背後にはそうした政治的選好に理解を示すあるいは許容する地元の有権者の存在がいるということについて、金平キャスターも日下部キャスターももっと謙虚

になるべきではないだろうか。